



「ロータリーの友」に思う



ロータリーの友地区委員 **霧山 勝弘**

(池田くればRC)

「ロータリーの友」は1980年に公式地域雑誌として、国際ロータリー(以下RI)の認可を受け、発行されているロータリーの地域雑誌です。地域雑誌としての「友」はロータリアンがロータリー・ライフを深めるためにも、またクラブがRIと直結しているという確認のためにも必要な媒体である、ということをもまずご理解いただきたいと思えます。

「友」誌は全国のガバナーで組織されるガバナー会が委嘱した「ロータリーの友委員会」の管理と監督下にある「ロータリーの友事務所」で、編集しています。全国34地区から、地区ガバナーに任命され、その代理者としての「ロータリーの友地区委員」は、年間5回の「ロータリーの友委員会」主催の合同会議に出席し、常にGとの連携を保ち、「友」誌に関する意思疎通をはかり、「友」誌に対する会員の関心を高め、ロータリー活動のテキストとして、有効活用の促進につとめています。更に「友」誌に関する情報をGに報告しGの意見を集約して合同会議、その他で発表することが主な任務です。

最初に取り組んだことは、多くのロータリアンに「友」誌を読んでもらう工夫として、予め「友」事務所から送られてきた「友」誌を読み、一定の基準に従って、簡単なコメントを付けて「友誌今月の推奨記事と関連事項」の紹介として、2660地区全クラブの雑誌・広報委員会委員長宛に送っています。毎月送信することによって、地区内の全クラブと接点を保ち、「友」誌の読書率向上に役立つと確信しています。

「友」地区委員の仕事を通じて再認識できたのは、ロータリー活動で、なによりも勝る資料は「友」誌であることです。今までいろいろな形で修正されたりはしてきましたが、ロータリアンに動くことのないロータリーの理想、ロータリーの思いを伝えてきた雑誌は「友」誌よりほかにはないと思えます。

「雑誌月間」に因んで、ロータリアンの皆様には、会員歴の長短にかかわらず、「ロータリーの友」をご覧ください。